

令和4年度 経営改革プラン

団体名	神戸都市振興サービス株式会社	
設立年月日	昭和55年8月21日	
団体の設立目的・沿革	<p>昭和55年8月21日、神戸新交通株式会社が100%出資する新交通サービス株式会社として発足。</p> <p>平成12年4月28日、医療・バイオ分野などの新事業の創出を支援するため、新事業創出促進法に基づき、「先端医療センター」の整備主体として、地域振興整備公団（現：独立行政法人 中小企業基盤整備機構）・神戸市・民間企業から出資を受け、神戸都市振興サービス株式会社に商号変更。</p> <p>神戸医療産業都市の中核施設を整備するとともに施設の管理・運営を行い、良質な研究環境を提供するなど神戸医療産業都市の側面的支援策を展開する会社として事業を開始し、現在に至る。</p>	
団体の主な事業内容	事業名	所管課
	賃貸事業	自主事業
	施設管理事業	自主事業
代表者	代表取締役社長 梅村 晋一	

役職員数 (令和3年7月1日時点)	取締役		監査役		職員		合計
	常勤	非常勤	常勤	非常勤	有期	無期	
団体固有職員	-	-	-	-		3	3
市派遣職員	1	2	-	-		6	9
市OB職員	1	-	1	-	7		9
その他	-	1	-	2	2	-	5
合計	2	3	1	2	9	9	26

財務状況（単位：百万円）	令和2年度	令和元年度	差引
経常損益	93	△4	97
税引後当期純利益	68	13	55
販売費及び一般管理費	181	194	△13
流動資産	5,003	6,671	△1,668
流動負債	273	268	5
長期借入金（固定負債）	0	0	0
期末現金預金残高	1,746	1,377	369

■中長期的なミッション（神戸市行財政改革方針2025期間中のミッション）

ミッション①	良質な研究環境の提供
ミッション②	安定的な収益の確保

■短期的なミッション（令和4年度のミッション）

ミッション①	施設利用率の維持・向上
ミッション②	当期利益の黒字確保

■経営指標（令和2年度）

経営指標				令和元年度	令和2年度	前年度比増減	令和元年度実績中小企業実態基本調査による業種別平均値
人的パフォーマンス	職員一人あたり純利益	純利益/職員数	職員1名あたりが、どの程度の利益を上げているか。(百万円)	0.664	3.579	2.9ポイント	1.721
	経常費用人件費比率	人件費/経常費用×100%	経常費用に占める人件費の割合がどの程度あるか。	6.87%	7.26%	0.4ポイント	17.83%
財政的パフォーマンス	総資本経常利益率	経常利益/総資本×100%	経常的な収益性はどの程度見込まれるか。	-0.03%	0.60%	0.6ポイント	2.24%
	流動資産回転率	売上高/流動資産×100%	流動的な資金が効率的に運用されているか。	26.89%	36.81%	9.9ポイント	73.61%
財政安定性	流動比率	流動資産/流動負債×100%	短期的な資金をどの程度確保できているか。	2485.86%	1832.65%	-653.2ポイント	130.24%
	自己資本比率	自己資本/総資本×100%	団体固有の資本がどの程度あるか。	97.59%	97.43%	-0.2ポイント	39.99%
持続性	自己資本当期純利益率（ROE）	当期純利益/純資産×100%	資本を効率的に運用しているか。	0.08%	0.45%	0.4ポイント	4.49%
	純資産増加率	(当期純資産-前期純資産) / 当期純資産×100%	純資産が持続的に増加しているか。	0.01%	0.54%	0.5ポイント	-14.89%

■ ミッション工程表

ミッション名	令和4年度			令和5年度			令和6年度			令和7年度～		
中長期的ミッション												
良質な研究環境の提供	5カ年保全計画に基づくラボビルの補修等（IBRI：空冷ヒートポンプパッケージ更新等、BMA：コージェネ設備保全等）			5カ年保全計画に基づくラボビルの補修等（IBRI：空冷ヒートポンプパッケージ更新等、BMA：コージェネ設備保全等）			5カ年保全計画に基づくラボビルの補修等（IBRI：冷熱源設備保全等、BMA：昇降機設備関係保全等）			5カ年保全計画に基づくラボビルの補修等（IBRI：冷熱源設備保全等、BMA：昇降機設備関係保全等）		
安定的な収益の確保	90%以上の入居率維持、（R3に実施した無償減資で生み出した経費を原資とする）総務・経理事務のシステム化等による業務コスト削減等			90%以上の入居率維持等（収支状況に応じ、賃料や共益費の水準の適正化等も検討）			90%以上の入居率維持等（収支状況に応じ、賃料や共益費の水準の適正化等も検討）			90%以上の入居率維持等（収支状況に応じ、賃料や共益費の水準の適正化等も検討）		
ミッション名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
短期的ミッション												
施設利用率の維持・向上	← 神戸市の誘致担当課と施設入居に向けた情報交換 →											
当期利益の黒字確保	← 経営に携わるメンバーによる毎月の財務状況確認及び年3回の決算見込により工事調整等を実施 →											

■ ミッションを踏まえた団体目標

目標及び実現方法	目標 (できるだけ達成度を表す数値目標も記載)	<p>管理運営する施設の入居率の90%以上維持や設備管理の集約化に努めつつ、（減資等により捻出した経費を原資として）事務のICT化による業務コストの削減等に努め、利益を確保して継続的に安定経営を行うことで、神戸医療産業都市を側面的に支援する。</p> <p>同時に、環境負荷が小さい機器の導入等を通じ、SDGsやゼロカーボンといった社会全体の要請にも応えていく。</p>
		・神戸市の誘致担当課と連携を密にし、90%以上の高い入居率を維持する。
		・設備管理の集約化によるコスト削減を図る。
		・減資等により捻出した経費を原資として、ラボビルの予防保全の充実や事務のICT化を推進し、配当の継続実施も考慮しつつ黒字の継続に努める。
		・収支状況に応じて賃料や共益費の水準の適正化等も検討。中長期的な財政の健全性を確保し、将来にわたる所有ビルの大規模補修等に対応する。
		・環境負荷が小さい機器の導入や工法の実施に積極的に取り組み、SDGsやゼロカーボンといった社会全体の要請に応えていく。
		・シェアラボ等の提供というハード的支援にとどまっているライフサイエンス系スタートアップに対し、支援の充実を目指す。

■ 市支援策の活用状況

<input checked="" type="checkbox"/> 外郭団体共通内部通報窓口	<input type="checkbox"/> 経営懇談会	<input checked="" type="checkbox"/> 外郭団体職員向け研修	<input type="checkbox"/> 民間代替性調査
<input type="checkbox"/> 専門家紹介制度	<input type="checkbox"/> 経営診断	<input type="checkbox"/> 企業統治状況調査	

■ ミッションの達成状況（団体自己評価）

（1）中長期的ミッションの達成状況

・神戸医療産業都市を推進する中核施設の管理・運営を行い、良質な研究環境を安定的に提供した。
・当社の設立目的を果たしながら、安定的な収益を確保した。

（2）短期的ミッションの達成状況

・神戸市の誘致担当課と密に連携し、所有する施設について90%以上の高い入居率を維持した。
・90%以上の高い入居率を維持した事等により、当期利益の黒字を確保した。

（3）市政への貢献・市民への還元状況

良質な研究環境の提供など医療関連の研究・開発に対する側面的支援策を展開することで、神戸医療産業都市の推進に貢献し、神戸医療産業都市が目指す神戸経済の活性化、市民の健康・福祉の向上に寄与した。

■ 外郭団体マネジメント推進本部の評価

（1）総合的意見

神戸医療産業都市を推進する中核施設について適切な管理・運営を行っており、良質な研究環境を安定的に提供することで、神戸医療産業都市の推進に貢献している。また、所有する施設について90%以上の高い入居率を維持し、当期利益の黒字を確保して安定した経営を行っている。

（2）数値目標の状況

評価項目	評価・指導
中長期的ミッション	所有する施設の補修工事を行うなど適切に管理・運営が行われており、良質な研究環境を安定的に提供し、収益を確保している。
短期的ミッション	神戸市誘致担当課と連携し、所有する施設の入居率を90%以上に維持しており、当期利益の黒字を確保している。
団体目標	業務フローの見直しなど適切な運営管理や業務コストの削減に努め、利益を確保して安定した経営を実現している。
市への貢献・市民への還元状況	必要な補修工事を行い、進出企業・団体に良質な研究環境を提供することで、神戸医療産業都市の推進に貢献している。

（3）今後の方向性

- 団体の存廃も含めた検討を要する団体 継続的な見直しを要する団体 取り組みが着実に実施され成果が上がっている団体